



Endpoint Manager **Cloud**

Apple ID・Google アカウントの設定不要！
効率的なアプリ管理の手法とは？

PC・スマホ・タブレットの一元管理をクラウドで実現
「使いやすい」管理コンソールで、充実の「IT 資産管理機能」と「MDM 機能」を実装

IT review 顧客評価No.1

使いやすい管理コンソール

充実の PC 管理

操作ログ・セキュリティ

PC 管理に必要な機能を網羅

Apple・Google の認定プログラム対応

充実の「モバイル管理」

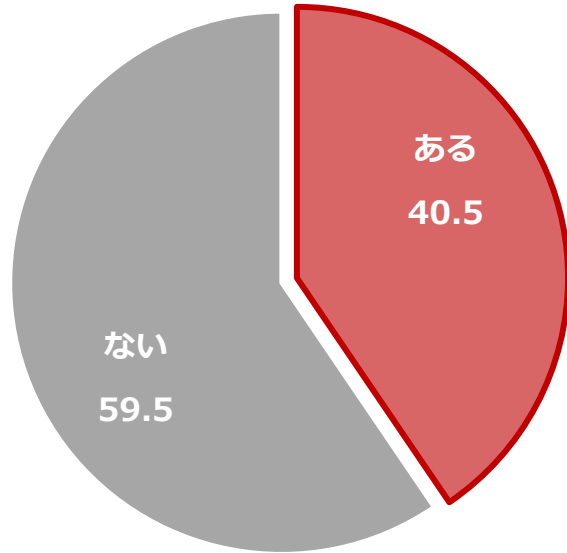


スマホ・タブレット アプリ管理の課題

デバイスの業務外利用・アカウントの設定や管理が複雑な課題に・・・

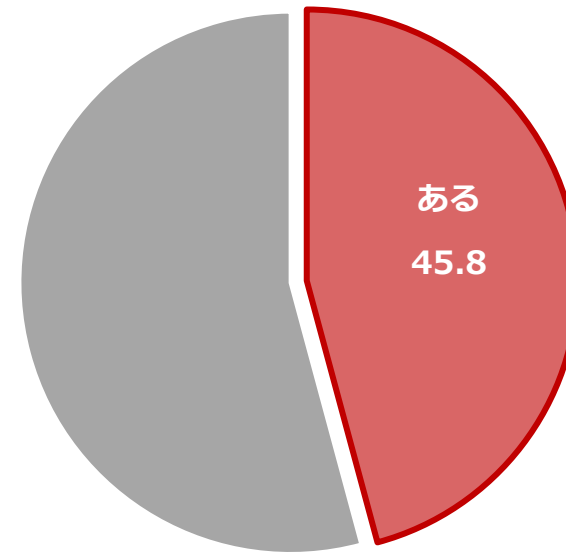
課題1

会社支給のスマホに**業務と関係の無いアプリ**をインストールしたことがあるか？*



課題2

クラウドストレージに**業務上の情報を保存**したことがあるか？*



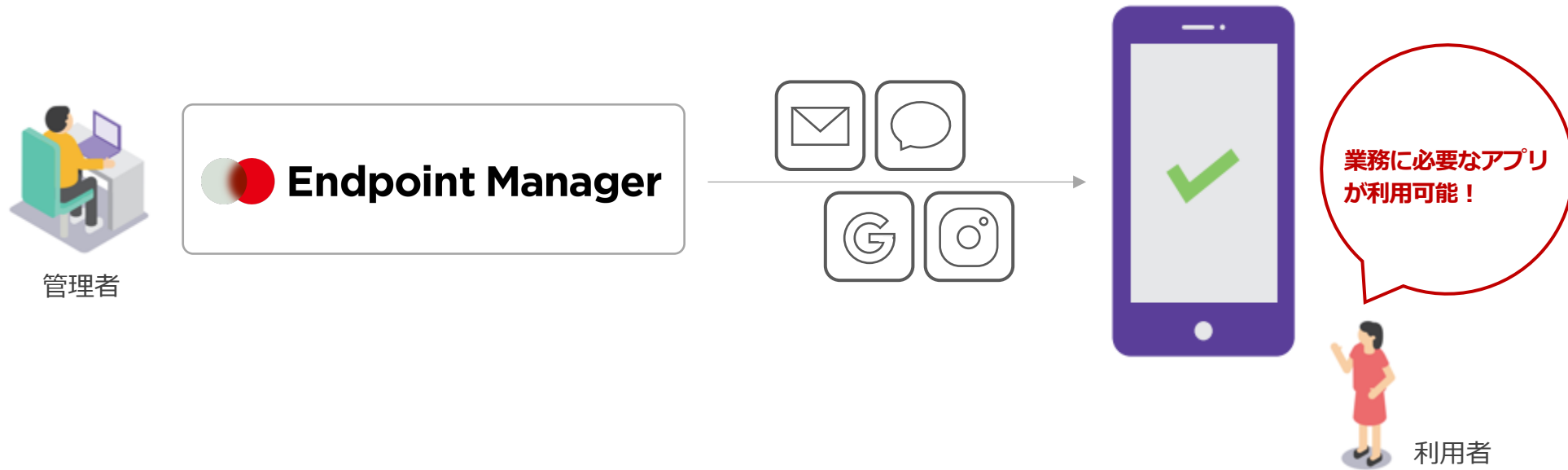
Apple ID・Google アカウントの設定・管理が課題に

ストアアプリのインストールには、iOS は Apple ID、Android の場合は Google アカウントをデバイス毎に設定する必要があります。従業員に設定を任せただけの場合、私物スマホのアカウントを設定されてしまい業務外利用などの課題が生じます。しかし、管理者がアカウントの初期設定や運用管理まで行うとなると、デバイス管理にかかる工数が膨大になり、デバイス管理以外の大切な業務ができなくなる課題が発生します。

* 「30代男女のビジネスパーソン600人に聞いた！業務用スマートデバイスの利用実態調査」 エムオーテックス株式会社

エンドポイントマネージャーを利用すれば・・・

管理者が許可したアプリのみを エンドポイントマネージャーから配信！
インストール時に Apple ID や Google アカウントは不要！*

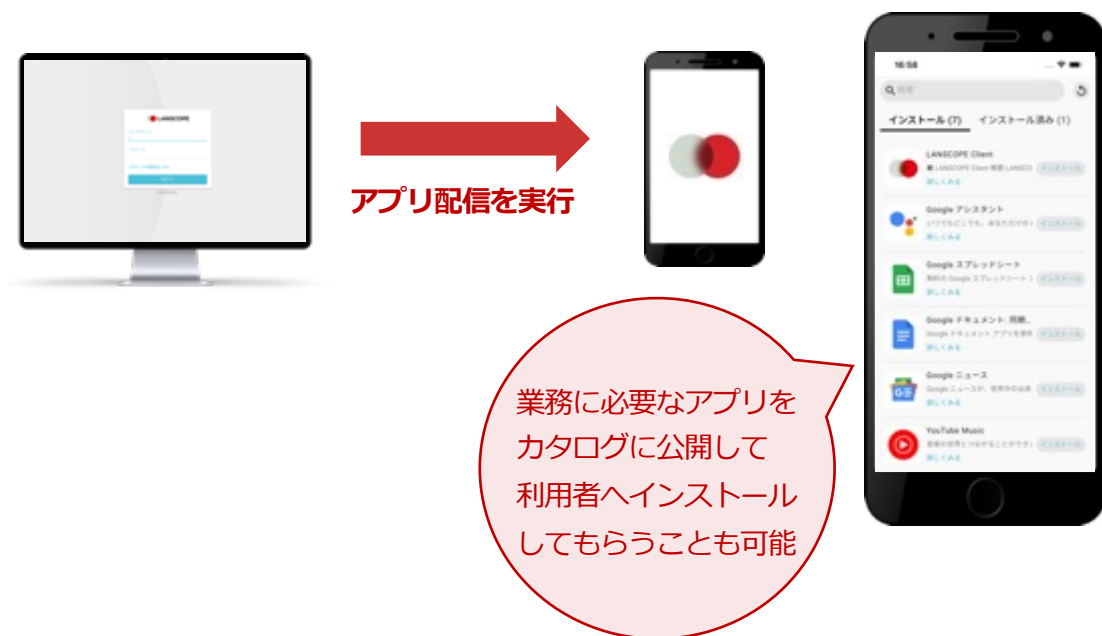


※ iOS は VPP 機能を、Android は Android Enterprise を利用する必要があります。

iOS は「アプリの一括配信」、Android は Android Enterprise で実現

アプリの一括配信 (VPP)

VPP とは、Apple 社が提供する「Apple Business Manager」の一つで、管理者がアプリをまとめて入手（購入）し、MDM からアプリを配信できるプログラムです。App Store を禁止している（監視モード必須）場合でも、アプリの配信・インストールまで可能です。



Android Enterprise

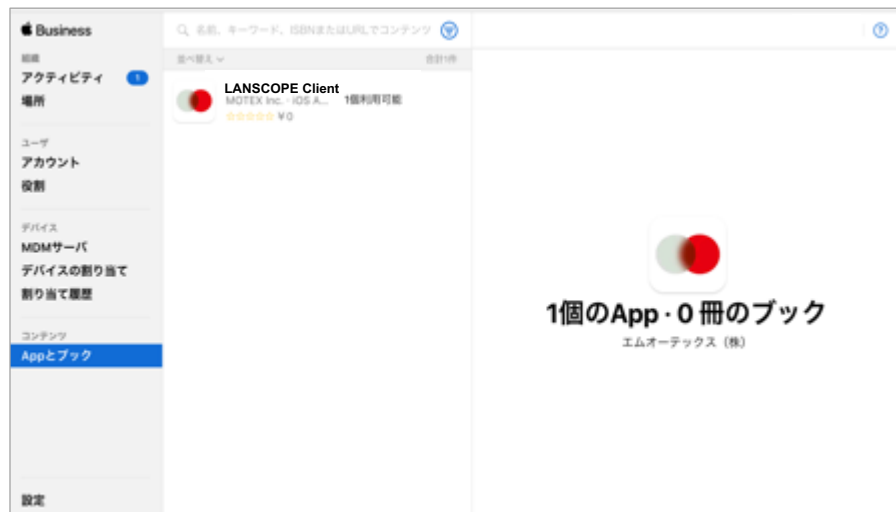
Android Enterprise とは、アプリの配信やデバイスの利用制御などを実現できる Google 社が提供するプログラムです。管理者が許可したアプリのみ Play ストアに表示できます。



効率的なアプリ管理の方法 - iOS 編 -

アプリの一括配信（VPP）： Apple ID の設定（サインイン）に依存せずアプリのインストールを実現

アプリを Apple Business Manager で入手し、エンドポイントマネージャーから配信することで*、デバイス側で Apple ID の設定有無にかかわらず、アプリをインストールできます。



① アプリを入手、
ライセンスが反映

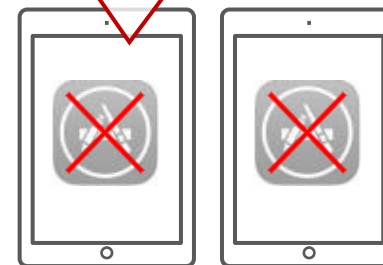
アプリ名	バージョン	最新バージョン	保有ライセンス数	割り当てライセンス数	実行台数	未実行台数	メモ	アプリバージョンの
LINE WORKS	13.5.4	13.5.4	20%	12%	8台	2台		com.nhn.linecorp.workspace
Microsoft Outlook	4.35.1	4.47.0	20%	10%	10台	2台		com.microsoft.Office.Outlook
Google マップ - 地図案内も...	15.5.5	15.5.5	20%	19%	1台	0台		com.google.Maps
業務案内	5.34.2	5.34.2	20%	12%	8台	0台		jp.co.ponkan.NorikawaApp

解説 デバイス側での操作について

インストール要求のダイアログ表示後に許可すると、インストールが完了。Apple IDのパスワード入力無しでインストールが可能。
※デバイスを監視モードに設定するとダイアログは表示されません。



App Storeを禁止して
いても配信可能！**



② VPPアプリを
デバイスに配信



③ インストール

* アプリの一括配信（VPP）機能はオプション機能です。本機能を利用するためには、Apple Business Manager の利用登録が必要です。

** App Store を禁止するためには、デバイスを監視モードに設定する必要があります。

業務に必須のアプリは管理者が Push で強制インストール、任意のアプリは利用者が必要に応じて、アプリカタログからインストールするなど、運用に合わせて使い分けが可能です。

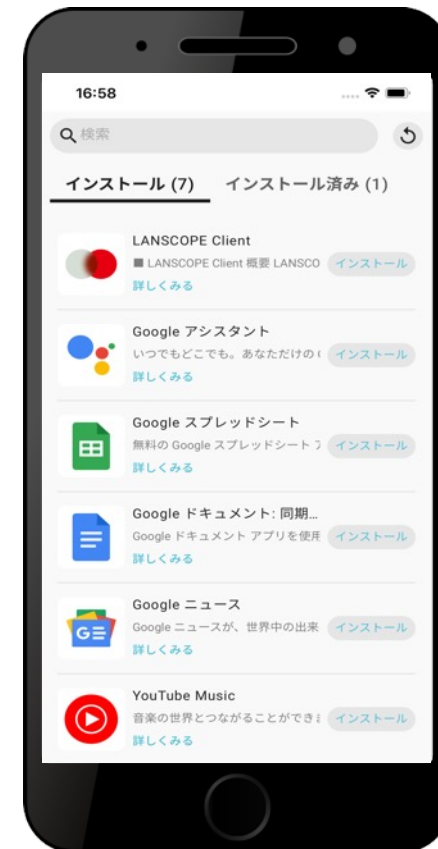
管理者による Push 配信

管理者による Push 配信機能は、管理者のタイミングで配信。アプリのアップデートは、管理者がエンドポイントマネージャーから行う必要があります。



アプリカタログを利用

利用者が自身のタイミングでアプリをインストールできます。アプリのアップデートも利用者が行えるので、管理者の負担軽減にもなります。



👉 アプリケーションの自動配信機能

業務に必要なアプリは、デバイスがエンドポイントマネージャーの管理下に入ったタイミング（MDM 構成プロファイルインストールのタイミング）で、自動配信が可能です。管理者が都度、アプリを配信する必要はありません。また管理下に入ったタイミングで、アプリカタログの公開も可能です。

参考) エンドポイントマネージャー クラウド版 アプリ配信の種類

「アプリの一括配信」(VPP)は Apple Business Manager の機能の一つで、Apple 社が提供する法人・教育機関向けのアプリの一括購入とMDMを通じてアプリを一括配信できるプログラムです。App Store アプリの配信機能は、インストールをデバイスに促すのみに留まり、デバイスでApple IDのサインインとパスワードの入力が必要でした。VPP は法人向けに用意される Apple Business Manager 上で、アプリを一括入手し、その入手履歴をエンドポイントマネージャー クラウド版と連携し、アプリを配信します。VPP を利用すれば、Apple ID のサインインやパスワード入力は必要ありません。

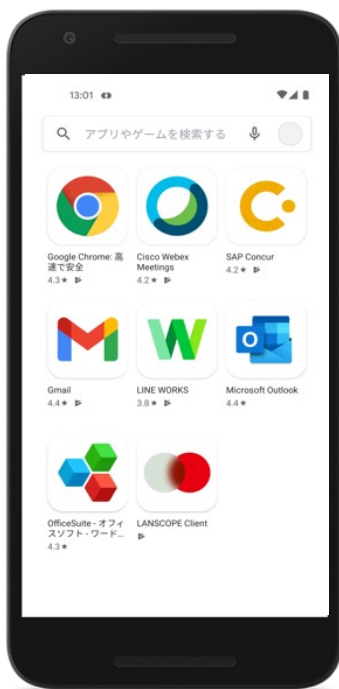
アプリ配信の種類/利用シーン比較	利用シーン	管理コンソールから配信実行後のデバイス側の動作	
App Store アプリ配信 (基本機能)	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスにApple IDを設定し、利用者にパスワードを教えている。 ● アップデートは利用者が App Store から行う。 	① アプリのインストールを促すダイアログが表示されるので「インストール」をタップする ② Apple IDのパスワードを入力する ③ インストールが実行される	
アプリの一括配信 (旧称 VPP) デバイスベース方式配信 (オプション機能)	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスに Apple ID を設定していない、もしくは設定しているが利用者にパスワードを教えていない。 ● App Store を禁止した状態でアプリを配信したい。 ● アップデートは管理者がエンドポイントマネージャーから行う 	監視モード適用	サイレントでインストールされる
		監視モード未適用	① アプリのインストールを促すダイアログが表示されるので「インストール」をタップする ② インストールが実行される
In-House アプリ配信 (基本機能)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自社開発した（ストアに掲載されていない）アプリを配信する。 ● アップデートは管理者がエンドポイントマネージャーから行う。 	監視モード適用	サイレントでインストールされる
		監視モード未適用	① アプリのインストールを促すダイアログが表示されるので「インストール」をタップする ② インストールが実行される

効率的なアプリ管理の方法 - Android 編 -

Android Enterprise : Google アカウントの設定（サインイン）に依存せずアプリのインストールを実現

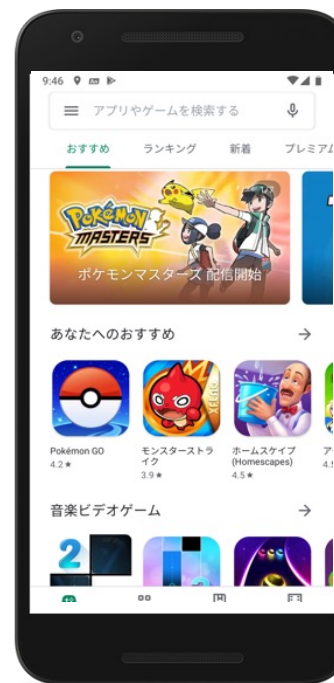
設定した利用を許可するアプリを Play ストアに表示します。デバイス登録時に、Play ストアを利用するための Google アカウントがランダムに設定されます（このアカウントで、Gmail などのサービスは利用できず、別途設定が必要です）。許可したアプリは、Play ストアに表示するだけでなく、強制的にインストールすることも可能です。

ホワイトリスト



許可したアプリ
のみ Play ストア
に表示する

ブラックリスト（“見た目”は通常の Play ストア）



不許可のアプリは
Play ストアに表示
しない



設定できるアプリは、Play ストア掲載のアプリです。自社開発アプリを Play ストアに表示できますが、注意事項があります。詳細はお問い合わせください。
また Android Enterprise の仕様上、Google Play ストアで課金が必要な有償アプリの管理はできません。

参考：Android Enterprise 機能一覧

No	機能	
1	パスワード再設定	デバイスに別のパスワードを上書きで設定できます。
2	パスワードポリシー	桁数や有効期限など設定するパスワードのルールを設定できます。
3	物理的な外部メディアの利用禁止	SDカードなど物理的な外部メディアの利用を禁止できます。
4	USB接続禁止	ストレージとしての接続やデータ転送を禁止できます。
5	NFCによるデータ転送禁止	NFCによるデータの転送を禁止できます。
6	Bluetooth機器の接続禁止	Bluetooth機器の接続を禁止できます。
7	デバイスの初期化禁止	デバイスの初期化を禁止できます。
8	日付・時刻の変更禁止	日付や時刻の変更を禁止できます。
9	デバッグ機能・セーフブートの利用禁止	デバッグ機能・セーフブートの利用を禁止できます。
10	位置情報設定の有効化	ポリシー適用時に位置情報モードを有効にできます。
11	充電中のスリープモードの無効化	充電中に画面がスリープ状態にならないように設定できます。
12	カメラの利用禁止	カメラの利用を禁止できます。
13	スクリーンショットの取得禁止	スクリーンショットの取得を禁止できます。
14	マルチユーザーの利用禁止	ユーザーアカウントの複数作成や切り替えを禁止できます。
15	アカウント管理の変更禁止	Googleアカウントの追加などアカウントの変更を禁止できます。
16	ネットワークの選択禁止	Wi-Fiネットワークの選択を禁止できます。
17	Wi-Fi設定	Wi-FiのSSIDやパスワードなどをデバイスに設定できます。
18	OS アップデートの制御	30日間 OS のアップデートを禁止するなどの設定ができます。

19	アプリ配信	アプリを指定して、デバイスへインストールができます。
20	Play ストア管理	Play ストアに表示するアプリを設定できます。
21	アプリ権限設定	アプリを利用するための権限などを設定できます。
22	アプリの自動更新設定	Play ストアアプリの自動更新を設定できます。
23	提供元不明アプリのインストール禁止	Playストアを経由しないアプリのインストールを禁止できます。
24	キオスクモード	特定アプリ以外利用できないようにするなど利用を限定できます。



キオスクモードは、Android Enterprise の機能の一つです。キオスクモードの設定を有効にしない場合は、Full Device Management として管理できます。

Apple Business Manager／Android Enterprise に関する詳細資料もご用意しています。
ぜひ合わせてご確認ください。



60日間無料で体験できます！

体験版を利用したお客様の7割が製品版をご導入いただいています



ABM・AE の連携設定も含め、製品版へのデータ引き継ぎが可能です！

エンドポイントマネージャー クラウド版の体験版は 60日間たっぷり利用できます。十分に機能を検証していただき、ご検討ください。

Apple Business Manager (ABM) ・ Android Enterprise (AE) との連携設定を含め、そのまま製品版へのデータ引き継ぎが可能です。

また体験版利用中も、弊社サポートセンターにお電話やメールで問い合わせが可能。マニュアルやオンラインで学べるトレーニング動画も公開しています。



製品に関するお問い合わせ

■ 営業本部

大阪本社 06-6308-8980
東京本部 03-5460-0775
名古屋支店 052-253-7346
九州営業所 092-419-2390
E-mail sales@motex.co.jp

ご導入後の製品利用に関するお問い合わせ

サポートセンター 0120-968995（携帯・PHSからは06-6308-8981）
お電話受付時間 9:30～12:00/13:00～17:30（平日、祝祭日除く）
Email お問い合わせ support@motex.co.jp